

CERN 理事会は粒子物理学のための欧州戦略チームを設置した

2005 年 6 月 17 日ジュネーブ:本日開かれた第 133 回 CERN 理事会にて、委員長のエンゾー・イアロッチ氏は、理事会が欧州の粒子物理学のための未来戦略と方向を定める役割を果たすことに合意したと発表した。イアロッチ教授は、この仕事はもともと組織が創立された時に CERN 理事会に求められていたことであるという点を指摘した。

この仕事を支援するために、ECFA（未来加速器のための欧州委員会）委員長と CERN 科学政策委員会の委員長、CERN 所長、CERN 加盟国のそれぞれの代表が指名するメンバー各 1 名、主要な欧州の国立研究所の代表からなる戦略計画チームが作られることになる。

研究所の基幹プロジェクトである LHC の現状は、本会合で議論された議題の一つである。プロジェクトリーダーであるリン・エバンス氏は、2007 年の夏に LHC の稼働を開始することを確実にするためのあらゆる努力がなされていると報告した。主任科学官のヨス・エンゲレン氏は実験と計算機の現状について報告した。すべての実験は 2007 年にデータを収集する状況になっていると期待され、LHC のグリッドプロジェクトは計画通りに進んでいる。

CERN 所長のロバート・エイマー氏は、LHC 計画は力強く前進している点を賞賛し、彼が 1 年前に理事会に初めて示した研究所に関する 7 点の戦略を強調した（注 2）。7 点のすべてについて進展があった。しかしエイマー博士は閉会の挨拶で注意を喚起し、研究所は 2007 年の LHC 開始に向けてコースを進んでいるが、現在の支出額の年次推移をみると、次の 10 年期の CERN の予算すべてを支払いのために使わなくてはならなくなってしまう恐れがある、と指摘した。この課題については次の 9 月の理事会において議論する予定である。

注 1 :

CERN 加盟国は Austria, Belgium, Bulgaria, the Czech Republic, Denmark, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Italy, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, the Slovak Republic, Spain, Sweden, Switzerland and the United Kingdom からなり、India, Israel, Japan, the Russian Federation, the United States of America, Turkey, the European Commission and UNESCO はオブザーバーである。

注 2 :

- (1) LHC 計画をスケジュールどおり完成させる。
- (2) LHC の信頼できる運転を保障するために CERN の現存の設備を強化する。
- (3) LHC 以外の実験プログラムの将来を検討する。
- (4) 欧州の研究に必要な CERN の役割を果たす。
- (5) LHC により強いビームを提供するために CERN における線形加速入射器を建設する。
- (6) CERN の革新的な加速器技術で現在よりもはるかに高いエネルギー領域に到達する窓を開くと期待されている CLIC に向けての開発研究の努力。
- (7) LHC から得られる結果によって将来の粒子物理学の見通しの最初のヒントを与えることになる 2010 年までに、CERN の長期の研究活動を広く調査評価する。

CERN 所長室

CERN のプレスオフィス